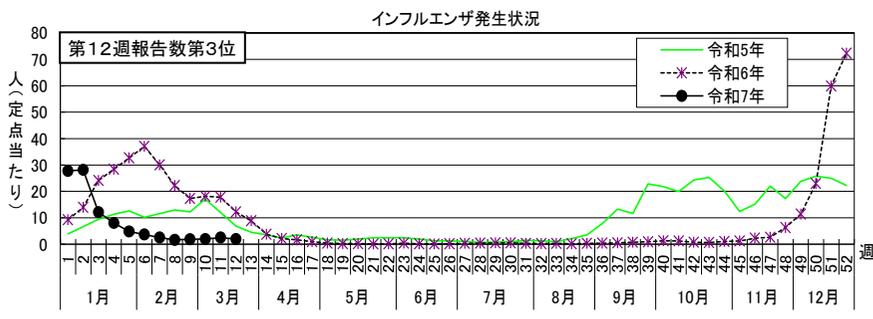
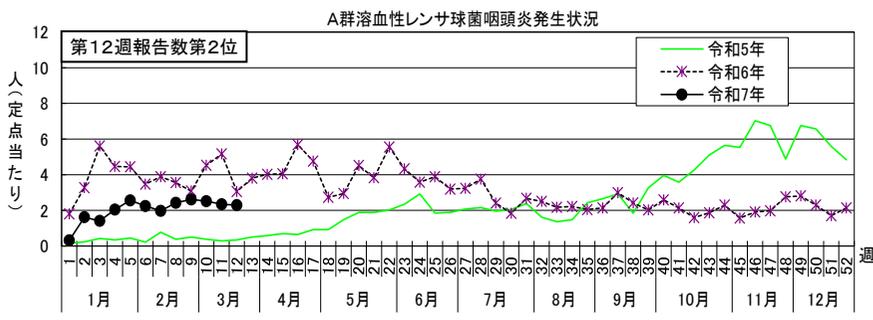
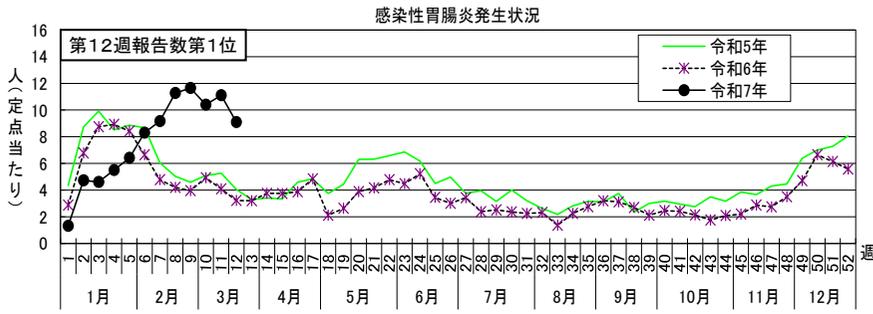


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年3月17日（月）～令和7年3月23日（日）〔令和7年第12週〕の感染症発生状況

第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.08人と前週（11.11人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.30人と前週（2.35人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。インフルエンザの定点当たり患者報告数は1.97人と前週（2.51人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



新年度から元気に過ごすために！

新年度を迎え、保育園や学校等での集団生活が始まると、人との接触の機会が増加し、様々な感染症にかかる可能性が高くなります。市内では、令和7年第12週（3月17日～23日）に水痘の定点当たり患者報告数が1.57人となり、流行発生注意報基準値（定点当たり1.00人）を超えました。また、全国的に麻しんの輸入例の報告数も増加しています。

感染症を予防するためには、手洗い等の基本的な感染対策の徹底や、ワクチン接種による予防が有効です。母子健康手帳で定期予防接種の接種歴を確認し、接種が済んでいない場合は、期間内に忘れずに接種をしましょう。

麻しん風しんの定期接種（MRワクチン）を期間内に受けられなかった方へ

現在のMRワクチンの不足等により麻しん風しんの定期予防接種を期間内に受けられなかった方は、令和7年4月から令和9年3月末まで無料でMRワクチンを接種することができます。なお、川崎市における対象者は次のとおりです。

- 【対象者】（川崎市に住民登録のある方）
- 第1期：令和6年度内に生後24月に達する、又は達した子（上記のほか、令和7年度中に2歳から3歳までの間にあるお子さんは、事前に申請することで、無料で任意接種が可能）
 - 第2期：令和6年度における第2期の対象者（5歳以上7歳未満の者であって、小学校入学前の年度1年間の間にあるお子さん）

※申請方法等の詳細は川崎市ホームページを御確認ください。

